

専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典

心と技の彩りを 百万石の集いから

第26回全国産業教育フェア石川大会

さんフェア石川2016

伝統を受け継ぎ未来へ伝えよう 人と人とのつながりをいかそう 新時代に対応した技能を身につけよう

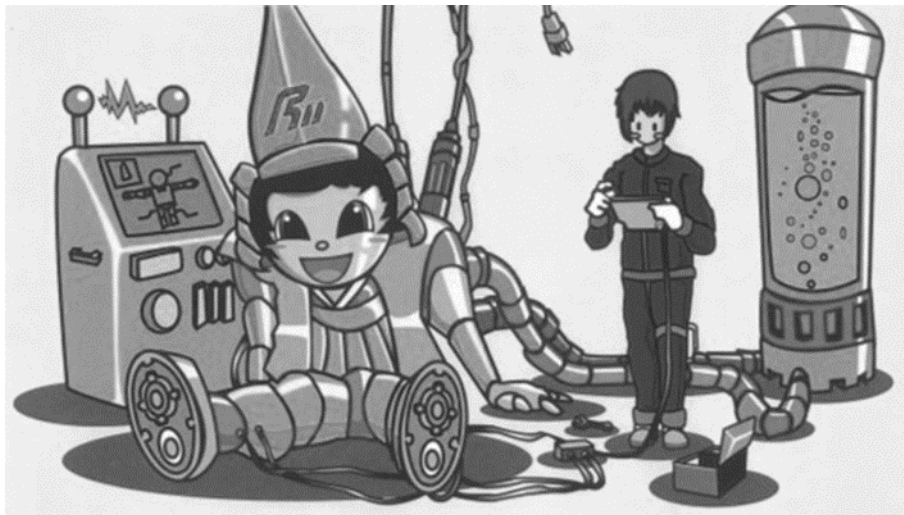


工業部会（ロボット競技）

審判マニュアル（抜粋）

会場準備:	平成 28 年 11 月 3 日（木）	8:00~17:00
運営準備:	平成 28 年 11 月 4 日（金）	8:30~17:00
運営日時:	平成 28 年 11 月 5 日（土）	7:30~18:30
	平成 28 年 11 月 6 日（日）	7:00~19:00

審判係
(小松工業高校)



実行委員:辰巳 昇
実行委員:岡山 美央

1~7.完全版に記載（ここでは省略）

8. 競技の流れに関する補足

(1) 待機場から競技開始まで

- ① 競技者は、待機場から移動後、すぐにコース脇控え席で待機。
- ② 「競技開始 1 分 30 秒前」の合図（パソコン動画によるホイッスル音）の後、競技者はリモコン型ロボットと自立型ロボットの調整と各種アイテムをセットすることができる。
- ③ コントロールボックスや配線コードを床に置き、**自立型ロボットの起動スイッチを押し**競技開始の 5 秒以上前に**主審に「準備完了」の申告をする。**
- ④ 競技は競技開始の合図（パソコン動画によるホイッスル音）により開始となる。
- ⑤ 操縦者はコントロールボックスを持って、リモコン型ロボットの操縦ができる。補助員は操作できない。

(2) 競技開始前に審判が確認する事項

- ① 得点対象物に過不足がないか。
- ② アイテムのセット状態は良いか。
- ③ 金沢ゾーンまたは金沢駅エリア（てまり 2 個）、加賀ゾーン（弁当箱大 3 個、弁当箱小 3 個）、能登ゾーン（盆 1 個、箸箱 2 個）のセット状態は良いか。
- ④ リモコン型ロボット・自立型ロボットはスタートエリアに入っているか。
- ⑤ ロボットのタイヤに粘着性が無いか。

(3) 競技中に審判が確認する事項

- ① 競技者からリスタートの申告があれば、ただちにリスタート場所へロボットを移動させるよう競技者に指示する。
- ② 競技中のリスタート時、主審は赤旗を上げ、リスタートを宣言、または申告された時点で、赤旗を上げたままにし、赤旗を下げてリスタートをさせる。（副審が赤旗を上げてリスタート宣言した場合、それを受けて主審が赤旗を上げて、リスタートさせる）
- ③ 補助員は操作してはならない。
- ④ 競技者は、時間内に競技が終了した場合、コントロールボックスを床に置き、手を上げることで主審に終了したことを告げる。
- ⑤ ゴールの場合は緑旗を上げる（ゴール後はリスタートできない）

(4) 集計作業（審判の動き）

- ① 競技得点を記録する。
- ② 競技の参考タイム（時間計測）は競技終了後、副審から報告を受け、競技記録用紙に記入する。
- ③ 競技終了時、主審は、金沢城エリアの得点を集計。また自立型ロボットの周回得点も集計し、競技結果記録用紙に記入。
- ④ 審判で競技結果記録用紙を確認し、競技者に結果を見せた後、サインさせる。
- ⑤ 主審が競技結果記録用紙をグループ審判に持ち寄り、グループ審判が順位を記入する。
- ⑥ 競技者へ車検の指示をし、競技結果記録用紙を誘導係に渡す。

(5) 競技中の失格事項

- ① 車検を合格できなかった場合。
- ② 競技コースや各アイテムを損傷、汚濁させたと審判が判断した場合。
- ③ 競技中に外部から競技者に指示を行った場合。
- ④ 競技中に無線による交信を行った場合。
- ⑤ 審判の指示に従わなかった場合。
- ⑥ 競技の公正さを害する行為、または言動があった場合。
- ⑦ 競技者が招集時間内に集合しなかった場合。
- ⑧ 競技場に競技者以外(チーム関係者)が立ち入った場合。
- ⑨ 無線機の電波を故意に混信等をさせた場合。
- ⑩ 実施規則「2 ロボットの規格及び製作規定」、「5 競技方法」、及び「7 競技上の注意事項」を守らなかった場合。

(6) リスタート事項

- ① 審判の許可なく競技中に競技者がロボットに触れた場合。
- ② リモコン型ロボットが線路エリア及び操作エリアに接触した場合。ただし配線コードの接触は除く。
- ③ 一度離れたアイテムを再度取ったとき。ただし、競技開始時に設置したエリアと金沢城での取りなおしは除く。
- ④ 自立型ロボットが逆走してコーナーを曲がったとき。
- ⑤ 審判から競技者にリスタートの指示が出た場合。
- ⑥ 競技者から審判にリスタートの申し出を行い、審判から許可を受けた場合。
(審判に「リスタートします」と伝えるものとする。)
- ⑦ リモコン型ロボットまたは、自立型ロボットがフライングスタートをした場合。
- ⑧ ロボットの修理・調整をする場合。

(7) リスタートする方法と手順

- ① すべてを最初の状態に設置し直さなければならない。なお、リモコン型ロボットが各アイテムを取り込んでいる場合は、各アイテムすべてをロボットから出さなければならない。なお、得点も最初の状態に戻る。
- ② 審判の許可が出るまでスタートすることはできない。
- ③ 修理・調整する場合は操作エリア内で行う。

(8) その他

- ① 競技後、主審はコースの修繕を必要と判断した場合、修理係に指示をする。
- ② 競技の開始と終了の合図は、音の鳴り始めをもってそれぞれ競技の開始、競技の終了とする。
- ③ アイテム係は、競技者からサインをもらうまで金沢城からアイテムを撤去しないこと。
- ④ ストップウォッチの操作による競技時間の計測開始と計測終了のタイミングは、以下のとおりとする。

－ 計測開始 －

競技開始の放送の合図で、ストップウォッチによる競技時間の計測を始める。

※スタート時にトラブルがあっても、競技開始の合図（パソコン動画によるホイッスル音）により競技時間の計測を行う（主審のスタートの合図ではない）

－ 計測終了 －

※主審の「終了」の緑旗を上げる合図で、ストップウォッチによる競技時間の計測をLAPボタンで止める。

（ゴール判定が覆った場合の為）

- ⑤ ストップウォッチの計測時間で1/10秒未満は切り捨てとする。
- ⑥ ストップウォッチのリセットは、順位判定終了後に行う。
- ⑦ アイテム係がアイテムバスケットを設置場所に置くことを確認する。
- ⑧ 同着（同点）が2チーム以上でた場合、対象チームは車検を行う。重量も同じ場合は、対象チーム同士でじゃんけんをして、1位を決める。
- ⑨ ビデオ判定の場合は、審判長が審議する。
- ⑩ Q&A「競技方法について」を熟知する。